

動作確認レポート

●はじめに

このドキュメントは、TSMagic 環境での SkyPDF 7 for MAGIC の動作確認テストの結果について記述したものです。

●対象

- ・ Magic xpa Version 4.7.1
- ・ TSMagic Version 14.70.5.27
- ・ SkyPDF TerminalServer Pro 7 for MAGIC Version 7.0.7

●動作環境

- ・ サーバー (TSMagic サーバー)
 - Azure VM Standard B2ms (2vcpu 数、8GiB メモリ)
 - OS : Windows Server 2019 Datacenter
 - TSMagic SkyPDF TerminalServer Pro 7 for MAGIC
 - TSMagic および SkyPDF TerminalServer 7 for MAGIC の設定は標準。
 - SkyPDF PrinterDriver: SkyPDF Pro Driver / SkyPDF V4 Driver
 - ワークグループ構成
- ・ サーバー (ファイルサーバー)
 - Azure VM Standard B2ms (2vcpu 数、8GiB メモリ)
 - OS : Windows Server 2019 Datacenter
 - ファイルサーバー機能
 - ワークグループ構成
 - 共有フォルダに TSMagic のユーザに対してフルコントロールを付加)
- ・ クライアント 1
 - Azure VM Standard B2ms (2vcpu 数、8GiB メモリ)
 - OS : Windows 10 Enterprise 1909 (x64)
 - クライアントモジュール : TSMagic ClientGenerator
 - ブラウザ : GoogleChrome、Microsoft Edge
 - PDF 出力先フォルダに Users に対してフルコントロールを付加
- ・ クライアント 2
 - CPU : Intel(R) Core(TM) i5-8350U CPU @ 1.70GHz 1.90 GHz RAM : 8 GB
 - OS : Windows 10 Enterprise 20H1 (x64)
 - ブラウザ : GoogleChrome、Microsoft Edge
- ・ ネットワーク構成
 - サーバー間 (TSMagic とファイルサーバー) は同一 VNET 上に存在
 - クライアント 1 とサーバーは別 VNET に存在
 - クライアント 2 とサーバーはインターネット経由で接続

●検証結果

TSMagic 環境で Magicxpa の印刷プログラム (GUI) のアプリケーションにより SkyPDF TerminalServer Pro 7 for MAGIC の動作を検証した結果、正常に動作することを確認いたしました。

詳細は検証項目および留意事項をご参照ください。

●検証項目

PDF ファイルの指定は Magicxpa のタスクの入出力ファイルの特性の「式/項目」でフルパス付のファイル名で指定する方法で検証をしております。ファイル名を指定せずに実行時にファイル名を入力する方法でのご利用の場合は留意事項をご参照ください。

・PDF ファイル出力先について

PDF ファイルの出力先は、TSMagic サーバーのローカルドライブ上、同一セグメント上の共有フォルダ、操作端末のローカルドライブ(*)のフォルダについていずれも適切なアクセス権を与えられていれば出力に問題はありませんでした。

(*)Web ブラウザから TSMagic を利用する場合は端末側のドライブは扱えないため出力先としては指定できません。

・PDF の用紙サイズ向きの指定について

PDF の用紙サイズおよび向きは Magicxpa のタスク内の入出力ファイルの特性で実際のサイズおよび向きを指定により制御できることを確認しました。用紙サイズが「D:デフォルト」の場合や Magic.ini での指定は動作保証外となります。SkyPDF のプロパティの用紙サイズ向きでの指定は動作保証外となります。

・PDF 生成後の PDF の表示について

SkyPDF のプリンタのプロパティの「ファイルの保存後に開く」のチェックに関係なく生成後に PDF は開きません。このプロパティは無視されます。

・PDF の同時生成について

SkyPDF は PDF の同時生成に対応しておりますが、パス名も含めて同一ファイル名 (実体が同じファイル) を同時に出力することはできません。かならず同時に出力する PDF ファイル名はパス名も含めて別々になるようにしてください。同時に同一のファイルへ出力処理を行いますと SkyPDF プリンタが異常な状態になります。

●留意事項

TSMagic 固有の機能に関して、サポート対象外とさせていただきます。

現在、確認している点は以下の通りです。

SkyPDF7 TerminalServer (Pro) 7 for MAGIC 固有の制限事項については TSMagic 環境下も該当となります。

・SkyPDF プリンタのプロパティの基本設定について

PDF ファイル名を Magicxpa のタスクの入出力ファイルの「式/項目」で指定を行う場合は SkyPDF プリンタのプロパティの基本設定は反映されないパラメータやオプションがあります。かならず Magicxpa のタスクで個別に指定をしてください。

- ・ 「ファイルの保存後に開く」はチェックを入れても開きません。必要に応じて出力後に Magicxpa 側でファイルをオープンしてください。
- ・ SkyPDF プリンタのプロパティは他のプリンタと同じく実行ユーザのユーザプロファイルの設定が利用されます。

・ローカル端末側プリンタのリダイレクト (リダイレクトプリンタ) について

SkyPDF はリダイレクトプリンタとしての利用は動作保証外です。ローカル端末側にも SkyPDF がインストールされている場合はリダイレクトプリンタとして使用しないでください。

・プリンタの共有について

SkyPDF は共有プリンタとしての利用は動作保証外です。共有をしないようにしてください。共有の設定を行うと PDF ファイルが正常に生成されなくなります。

・PDF ファイル名を「式/項目」で指定しない場合について

SkyPDF プリンタのプロパティの「PDF 出力後に開く」をチェックした場合、PDF が生成された後、PDF が開きます。PDF ファイルは TSMagic 上の関連付けに基づいて TSMagic 側のアプリで TSMagic クライアント側に表示されます。

特に理由がないかぎりこの方法ではなく、「式/項目」でファイル名を指定することをお勧めします。特にバッチ処理の場合はこの方法は使わないでください。対話型のアプリの場合は PDF 生成の次のフローがない場合のみで利用をご検討ください。

●ライセンスについて

SkyPDF TerminalServer (Pro) 7 for MAGIC のライセンスは NamedUser ライセンスもしくはデバイスライセンスになります。同時接続数ライセンスではありません。

必要とするライセンスの数量は SkyPDF の利用の有無 (PDF の生成の有無) に関係なく

NamedUser ライセンスの場合は TSMagic サーバーに接続するユーザの合計数、デバイスライセンスの場合は TSMagic サーバーに接続するデバイスの合計数になります。これは TSMagic 上での利用に限定しての取り決めではありません。(多くの場合所有されている RDSCAL(*)と同等の数のライセンス数が必要となります)

SkyPDF TerminalServer (Pro) 7 for MAGIC のライセンスは 10 ライセンス単位での販売となります。ライセンス数を切り上げてのご購入となります。

他の SkyPDF 製品(Standard,professional,ServerMT)については TSMagic 上での動作は動作保証外となります。

(*)サードパーティのテクノロジーを使用する場合 RDSCAL の必要性は以下をご参照ください。

参考：https://download.microsoft.com/download/B/2/0/B20A660F-787F-4C17-8CE6-35E9789E2CB1/Windows_Server_2012_R2_Remote_Desktop_Services_Licensing_Datasheet.pdf

以上